座標変換プログラム

操作マニュアル

内容

1.	製品	全体 3
	1.1.	製品概要
	1.2.	動作環境
	1.3.	インストールとアンインストール
	1.3.1	. インストール
	1.3.2	アンインストール4
	1.4.	初期設定4
2.	座標	変換プログラムの機能 5
	2.1.	丸め条件に関して
	2.2.	機能
	2.2.1	. プログラムの起動6
	2.2.2	座標追加
	2.2.3	· 座標編集
	2.2.4	
	2.2.5	座標全削除8
	2.2.6	· 座標取込
	2.2.7	. 座標変換
	2.2.8	. 比較表の出力(印刷プレビュー)11
	2.2.9	. 比較表の出力(印刷)12
	2.2.1	0. 変換後の座標値を CSV 出力12
	2.2.1	1. プリンタの設定

1. 製品全体

1.1. 製品概要

座標変換プログラムでは、任意座標を重み付き補完固定の変換を行い、計算世界座標を求めます。

1.2. 動作環境

項目	内容
OS	Windows XP(32bit/64bit), Windows Vista(32bit/64bit), Windows 7(32bit/64bit)

1.3. インストールとアンインストール

1.3.1. インストール

任意の場所にフォルダごとコピーをして下さい。

1.3.2. アンインストール

フォルダごと削除をして下さい。

1.4. 初期設定

座標変換プログラムを実行するには、変換パラメータが設定された BMB ファイルが必要になります。プログラムがあるフォルダ内に config フォルダがありますので、同フォルダ内に BMB ファイルを配置して下さい。プログラム実行時に条件を読み込みます。

config フォルダが無い場合はフォルダを作成して下さい。

BMB ファイルが存在しない場合、下図のようにボタン及びメニューがグレー表示になります。



2. 座標変換プログラムの機能

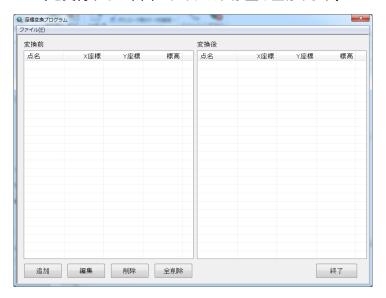
2.1. 丸め条件に関して

座標変換プログラムは、内部では座標値をフル桁で保持していますが、リスト及び比較表では 少数3位四捨五入固定で表示しています。

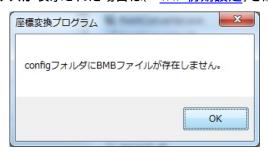
2.2. 機能

2.2.1. プログラムの起動

「PointConverter.exe」を実行すると下図のダイアログが立ち上がります。



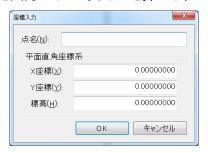
下記のメッセージボックスが表示された場合は、「1.4. 初期設定」を確認して下さい。



2.2.2. 座標追加

「追加」ボタンを押すと、下図のダイアログが立ち上がります。

点名、X座標、Y座標、標高を入力して「OK」ボタンを押して下さい。

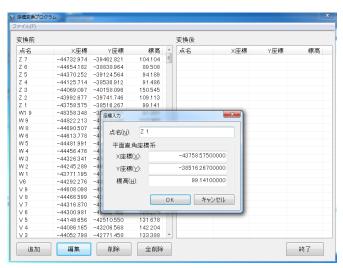


入力された座標値が変換前のリストに追加されます。

2.2.3. 座標編集

「編集」ボタンを押すと、下図のように変換前のリストで選択された座標値が入力されたダイアログが立ち上がります。

変換前のリストで行をダブルクリックで選択すると同様のダイアログが立ち上がります。



座標値を編集して「OK」ボタンを押して下さい。

2.2.4. 座標削除

変換前のリストから削除したい座標を選択して「削除」ボタンを押すと下図のメッセージが表示されます。

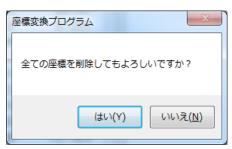


「はい」ボタンを押すと座標が削除されます。

Ctrl または Shift ボタンを押しながら選択すると複数選択して削除することが可能です。

2.2.5. 座標全削除

「全削除」ボタンを押すと下図のメッセージが表示されます。



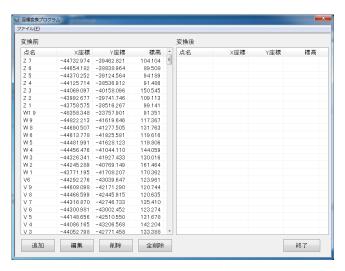
「はい」ボタンを押すと全ての座標が削除されます。

2.2.6. 座標取込

[ファイル] - [座標取込]から SIMA ファイルまたは CSV ファイルを読み込みます。



読み込みが完了すると、下図のように変換前のリストに座標が登録されます。

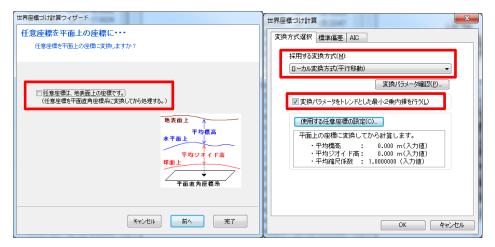


2.2.7. 座標変換

変換前のリストに座標が登録されると[ファイル] - [座標変換]が選択できるようになります。



変換に関しては重み付き補完固定の変換になり、BMB では下記の設定になります。



変換が完了すると変換後のリストに計算された座標が登録されます。

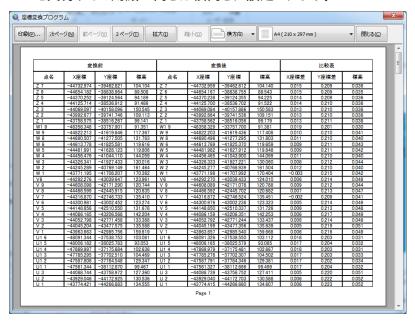


2.2.8. 比較表の出力(印刷プレビュー)

座標変換が行われると[ファイル] - [比較表の出力(印刷プレビュー)]が選択できるようになります。



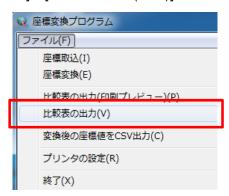
印刷プレビューを実行すると用紙の向きは横向きに設定されます。



用紙サイズや向き等問題がなければ印刷を実行して下さい。

2.2.9. 比較表の出力(印刷)

座標変換が行われると[ファイル] - [比較表の出力(印刷)]が選択できるようになります。

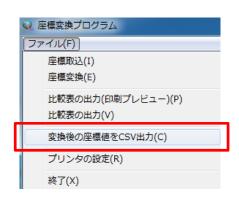


直接印刷を実行した場合は、現在設定されているプリンタの設定に依存します。



2.2.10. 変換後の座標値を CSV 出力

座標変換が行われると[ファイル] - [変換後の座標値を CSV 出力]が選択できるようになります。



「変換後の座標値の点名,X,Y,標高」のフォーマットで CSV 出力します。

2.2.11. プリンタの設定

[ファイル] - [プリンタの設定]から印刷を実行する前にプリンタの設定をします。

